

会沢…皆さんこんにちは。今日は、いわゆる高断熱高気密住宅（以下高断熱住宅）を主に建築している工務店の方々にお集まりいただきました。新住協の事務局には毎年冬になると一般ユーザーからの問い合わせがあります。その多くは「高断熱住宅をつくりたいので工務店を紹介してほしい」という内容です。その問い合わせが一番多いエリアはどこだと思いますか。東北や北海道の寒い地域と思うかもしれませんが、全く逆で、一番多いのが中部東海、二番目が四国です。第一位がまさにご当地です。理由はユーザーの関心が高いわりに高断熱住宅についての情報がないからだと思います。今日は、高断熱住宅をつくる側から、高断熱住宅の色々なことを話して頂いて、これから家を建てようとする方の役に立つ座談会にしたいと思います。今日は中部東海に限らず、三重県や富山から参加していただいております。まずは、皆さんのご当地で高断熱住宅に住んでいるお客様の暮らしや感想がどうなっているから入りたいと思います。



【高断熱住宅で暮らしはどう変わる】

武田…私は富山ですが、今年の冬、こんなことがありました。電力会社の担当の方が来て、「工作上、色々な住宅を見て回っているが、玄関がこんなに暖かい家は初めてだ」と言っていました。玄関に入った瞬間の暖かさに驚いたようです。私にとってはそれが特別なことではないのですが、そういう違いって住宅会社によって大きな差があるんですね。



いました。

会沢…ちよつと大きいですね。やりすぎですよ（笑）。

小縣…いや、Q1.0住宅※にしたら暖かいので、旦那さんがTシャツに短パンみたいな暮らししているとか、そういう話はよくありますよ（笑）。それから、室内で飼っている犬が元気になったとの話もありました。当社もその家は床下からの全室暖房ですが、光熱費はそんなにかかっていないですよ。

瀬瀬…家の中はそれこそ暖かいじゃないですか。それで、まだ小さい赤ちゃんのいるお客様の家を建てた時に、夜泣きが以前より少なくなっような気がすると言っていました。暖かいとやっぱり気持ちも良くなるし、親も子ども、身も心も健康になったような気がすると言われたことがありました。家の中が寒くないというのはいいですね。

会沢…そうですね、暖かいと育児にすぐ助かるという話も聞きますね。その方は12月誕生の母子でした。

小縣…僕たちのお施主さんからは寒いとは聞きませんが、一般的な新築住宅では寒いとか結露するとかはよく聞きますね。うちが採用している床下エアコンや、断熱・気密がとれた住まいを案内すると、こんなに違うんですねと実感してもらえますね。

会沢…加藤木さんは静岡県の北から南まで各地でお仕事をされているようですが、住んだ方の反応は？

加藤木…やはり、夏涼しくて、冬暖かいと喜ばれています。特に、夏は自然風を



溝口…私は高山です。おそらく今日出席してい

る人の中で一番寒いと思いますが、暖かさにはビックリされています。暖房はエアコンを使っ



て床下から暖房しているのですが35坪の住宅全体が暖かくなっています。勿論、断熱材の厚さもサッシ・ガラスもハイグレードではありますが、それにしても今までの住宅とは全く違っているで私自身も内心驚きです（笑）。

※読者の皆さんに最初に説明しておきたいと思いますが、拙著に『この「家」にしてよかった。』という本があります。新住協の高断熱住宅に住んでいるユーザーを訪問して暮らしや家づくりを描いたもので前出の2例とも取材しています。

会沢…松木さんが施工された住宅もそうでしたね。

松木…そうですね。高山の伝統的な格子や小庇のある家をQ1.0住宅にまで上げたのですが、大きな家が全室暖かくなって、高齢のご夫婦に本当に感謝されています。寒くないし、朝起きも楽、洗濯物も室内干しでよく乾くとか大変な喜びですよ。



会沢…寒いところでそんな成果ですから、横井さん、名古屋のような暖かいところで同じような家をつくったら、とてもないことになるんじゃないですか。

横井…そうですね。一昨年名古屋市内で建てさせてもらったのですが、冬でもシャツ1枚でまったく寒くなく、すごく快適だと、そういう住宅を楽しんじやっているお客様がいます。外に新聞を取りに行く時は気をつけていると笑って



意識して設計しているのですが、とても暮らしやすいと好評です。

会沢…そういえば田原さん、『この「家」にしてよかった。』1号に載っている美濃加茂の1さんはすごい人でしたね。冬は寒く夏は寒かった家を、リフォームしながら最終的に全室暖房全室冷房の家にしてしまったんですね。しかも、それ以後は24時間空調して、それでいて年間の光熱費が全体で10万円そこそこというのですから驚きです。上手に暮らしているなあという印象です。

田原…あの工事をさせていただきましたが、あれが本物の高断熱住宅でしょうね。あのお客様、冬が近づいてホームセンターに並ぶ沢山の暖房器具をみて、「家を暖かくするのは暖房器具ではなく断熱なんだけどなあ」とつぶやいた話があるんですよ。断熱の性能を確信したって感じですね。昨年建てたお客様から年賀状を頂きました。「おかげさまで、とても気持ちのよい冬です。今朝は雪がちらつきましたが、エアコン1台でまかなえています」そんな内容ですが、自然な暖かさに感動してくれて、うれしいですね。



【快適な暮らしで光熱費が今までより少ない】

会沢…今、光熱費の話が出ましたが、実際、暖房にかかる費用はどうなっていますか。例えば、溝口さんの高山では、皆さんがつくる高断熱住宅ではなく、普通の家庭だと年間の暖房費はいくらぐらいになっていますか？

溝口…規模や間取りなどにもよると思いますが、一般的には暖房費が年間10万円ぐらいで灯油やガスなど光熱費全部だと25〜30万円、或いはそれ以上にかかっていると思います。それが、先ほどの家で冬の間全室暖房して年間の電気代が全部